

2016年5月16日 全6頁

# FRB 銀行上級貸出担当者調査（2016年4月）

## 商工ローンを除き借入需要が増加

ニューヨークリサーチセンター  
上野 まな美  
シニアエコノミスト 土屋 貴裕

### [要約]

- 2016年4月の調査によると、企業向けローンにおいては、商工ローンと商業用不動産ローンともに貸出基準が厳格化された。借入需要は、商工ローンにおいて伸び悩んだが、商業用不動産においては増加した。
- 家計向けローンでは、住宅ローンの貸出基準の緩和が若干見られた。消費者ローンの中では、クレジットカードローンとその他の消費者ローンの貸出基準が多少緩和された一方で、自動車ローンの貸出基準は基本的に変わらなかった。借入需要は、住宅ローンの大半の分野で増加し、消費者ローンにおいても幅広く増加した。

FRB（連邦準備制度理事会）の2016年4月の銀行上級貸出担当者調査（Senior Loan Officer Opinion Survey on Bank Lending Practices）は、2016年1月から3月の3ヵ月間における銀行の企業向け及び家計向けローンの貸出基準、貸出条件、借入需要の変化に関する調査である。同調査では、米国銀行70行と、米国に支店を持つ外国の大手銀行22行が対象になった。

企業向けローンに関しては、商工ローンと商業用不動産ローンともに貸出基準が厳格化された。借入需要は、商工ローンにおいて伸び悩んだが、商業用不動産においては増加した。

家計向けローンは、住宅ローンの大半の分野において貸出基準の緩和が若干見られたほか、需要が増加した。消費者ローンの中では、クレジットカードローンとその他の消費者ローンの貸出基準が多少緩和された一方で、自動車ローンの貸出基準は基本的に変わらなかった。また、消費者ローンの需要は、幅広く増加した。

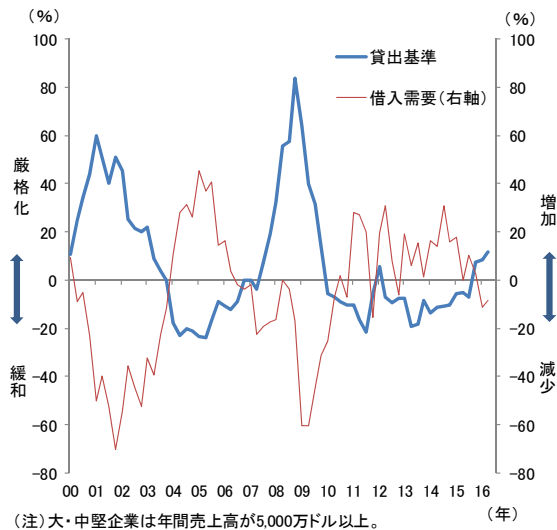
## 商工ローン

商工ローンの貸出基準は、大・中堅企業向けの厳格化が目立った。銀行はリスクが高い貸出に対するプレミアムを引き上げて貸出条件を厳格化しているほか、貸出条項を厳格化している銀行もあった。貸出基準や貸出条件を厳格化した米国銀行の大半は、不確かな経済見通しや、借り手に影響を及ぼす業界特有の問題の悪化を重要な理由として挙げている。

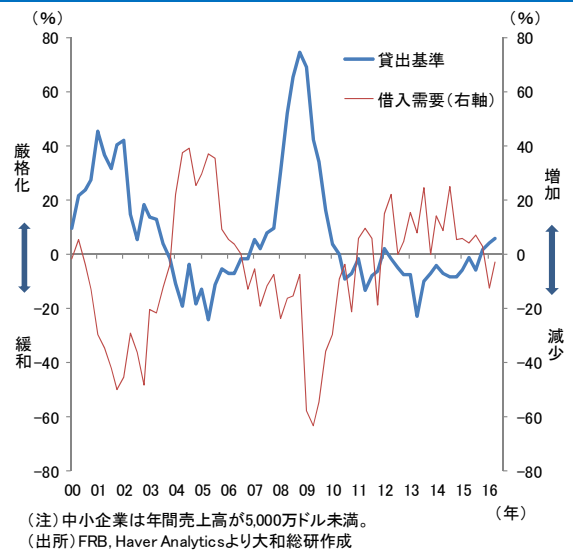
商工ローンの借入需要に関しては、大・中堅企業からの需要が減少した一方で、中小企業からの需要は基本的に変わらなかったとの回答が大手銀行から得られた。借入需要の減少は、顧客の設備投資が減少したことが最も一般的な理由として挙げられているが、M&A や売掛債権、在庫への資金ニーズの減少も関係している。

今回は特別調査として、石油・天然ガスの掘削及び採取に従事する企業への貸出調査が行われた。同業界への貸出は、商工ローン全体の残高の5%未満と米国銀行が回答したのに対し、米国に支店を持つ外国の大手銀行は、5%以上を占めると回答している。いずれにせよ、同業界へのローンは延滞と償却率が2016年に増加・上昇することが2016年に予測され、銀行側はローンの損失リスクを軽減するため前述のような貸出条件を厳格化する措置を取っている。また、エネルギー業界に依存する地域に所在する企業や居住する世帯への信用の質が幾分低下していることも判明した。

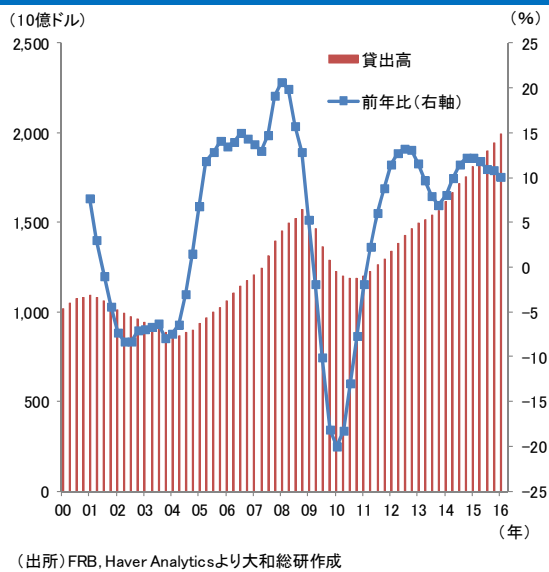
大・中堅企業向け商工ローンの貸出基準及び借入需要



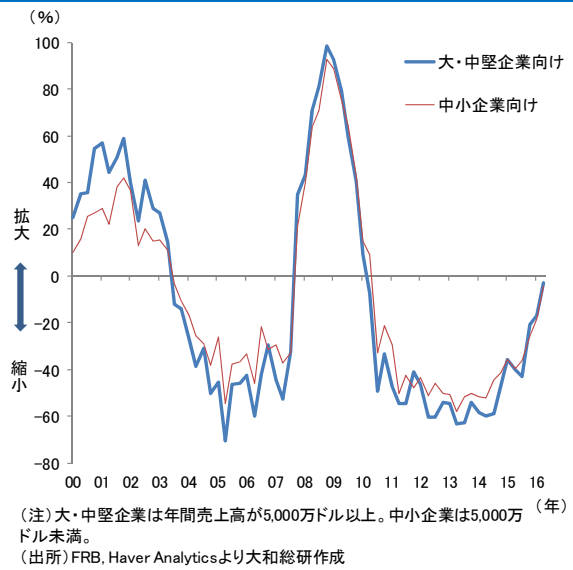
中小企業向け商工ローンの貸出基準及び借入需要



商工ローンの貸出高及び前年比(全商業銀行)



商工ローンの金利スプレッド

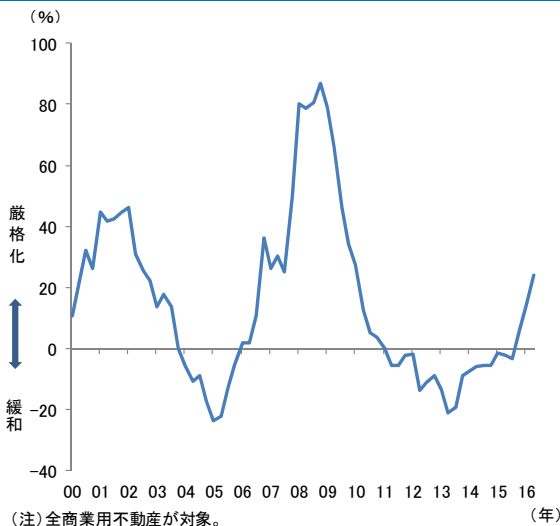


## 商業用不動産ローン

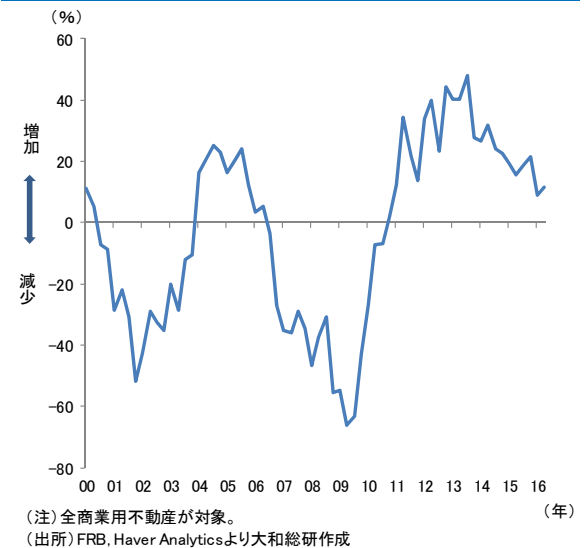
商業用不動産ローンの全分野（建設及び土地開発、非農業用・非住宅用不動産物件、集合住宅物件）において、貸出基準が厳格化された。特に、建設及び土地開発と集合住宅物件に対する貸出基準の厳格化が目立った。商業用不動産ローンの借入需要は、全分野において増加した。

特別調査として、商業用不動産の貸出方針や証券化に関する調査が行われたが、それによると、商業用不動産ローンの貸出条件の大半はここ1年変わっていない。また、過去6ヵ月における商業用不動産担保証券（CMBS）市場は、商業用不動産ローンの組成が増加した一方で、商業用不動産ローンの証券化が減少した。2006年に組成された莫大な商業用不動産ローンや、今後6ヵ月内に借り換えの必要がある保有中のCMBSに対する貸出基準は、他の商業用不動産ローンに比べて若干厳格化されるとの回答があった。

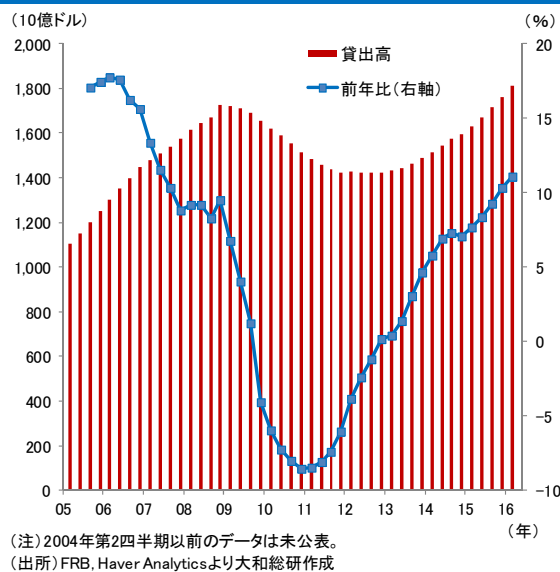
### 商業用不動産ローンの貸出基準



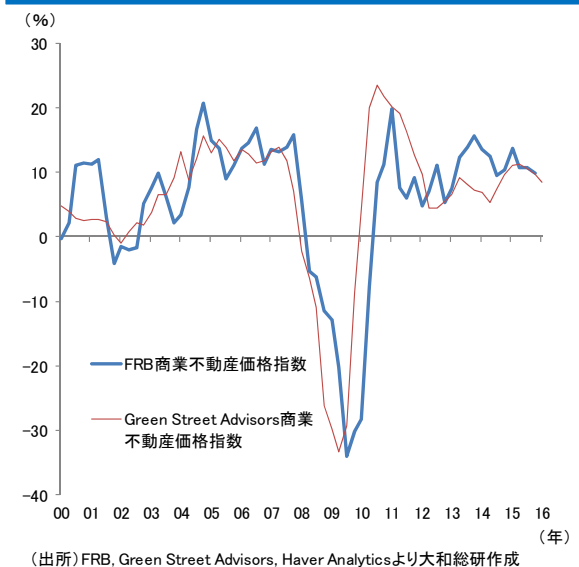
### 商業用不動産ローンの借入需要



### 商業用不動産ローンの貸出高及び前年比(全商業銀行)



### 商業用不動産価格の推移(前年比)

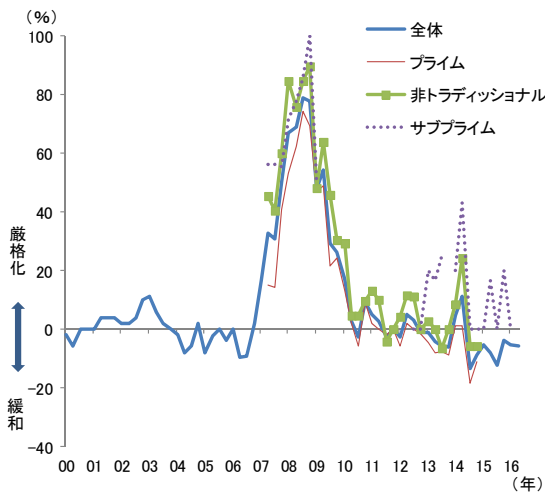


## 住宅ローン

住宅ローンに関しては、GSE（Government-Sponsored Enterprise：政府支援機関）適格住宅ローンや、QM（Qualified Mortgage：適格）住宅ローン、非QMジャンボ住宅ローン、QM非ジャンボ・非GSE適格住宅ローン、非QM非ジャンボ住宅ローンの貸出基準を緩和した銀行が若干あった。しかし、他の住宅ローンの貸出基準は基本的に変わらなかった。

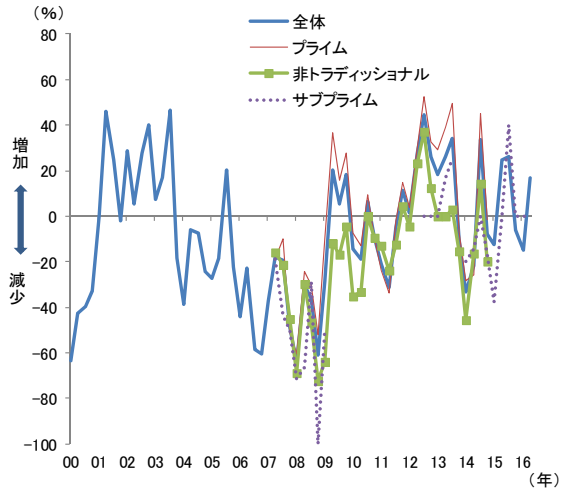
住宅ローンの借入需要は、大半の分野で増加した。特に、GSE適格住宅ローンやQMジャンボ住宅ローンの需要増加が著しく、QM非ジャンボ・非GSE適格住宅ローンや、非QMジャンボ住宅ローン、非QM非ジャンボ住宅ローンの需要増加もある程度報告された。

住宅ローンの貸出基準



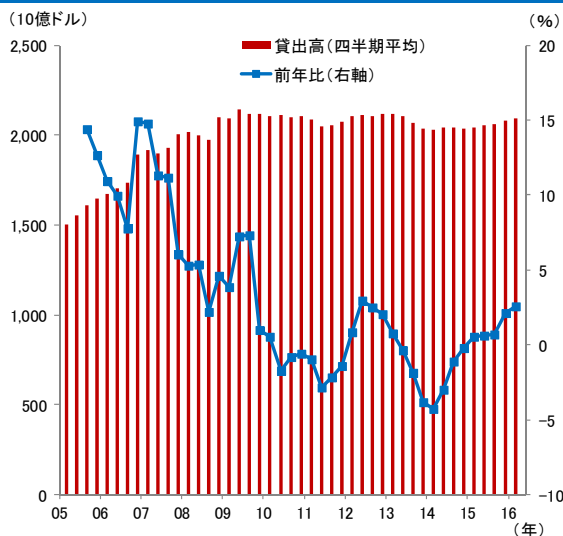
(注) 2007年第2四半期より、住宅ローンの分類別貸出基準を発表。2014年第4四半期からは、7つに分類。回答が3社以下の場合、データは未公表。  
(出所) FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

住宅ローンの借入需要



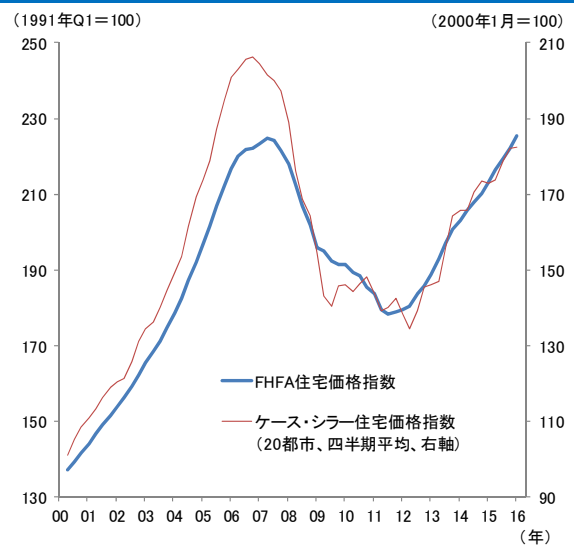
(注) 2007年第2四半期より、住宅ローンの分類別貸出基準を発表。2014年第4四半期からは、7つに分類。回答が3社以下の場合、データは未公表。  
(出所) FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

住宅ローンの貸出高及び前年比(全商業銀行)



(注) 2004年第2四半期以前のデータは未公表。ホームエクイティローンを含む。  
(出所) FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

住宅価格の推移



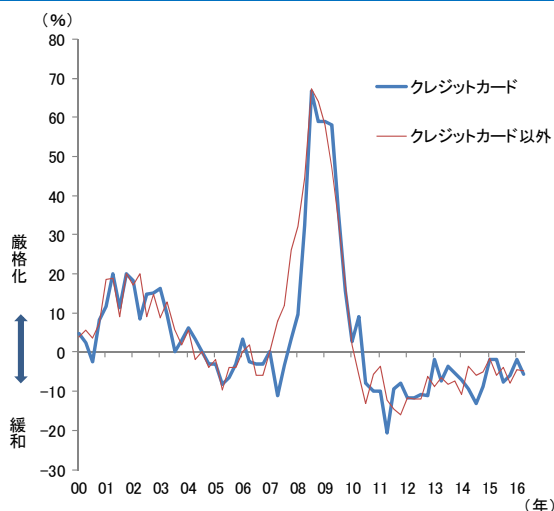
(出所) FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

## 消費者ローン

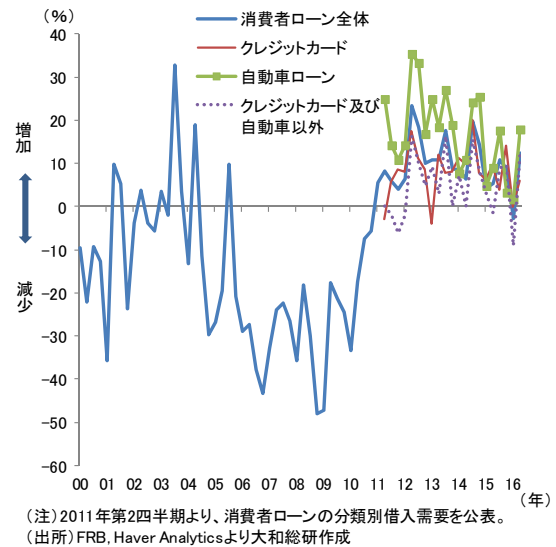
消費者ローンへの貸出意欲が強くなったとの回答が僅かながらあった。クレジットカードローンと、その他の消費者ローンに対する貸出基準が多少緩和された一方で、自動車ローンの貸出基準は基本的に変わらなかった。また、消費者ローンの貸出条件に関しても、全分野において基本的に変わらなかった。

消費者ローンの借入需要は、大体において増加した。自動車ローンや、クレジットカード及び自動車以外の消費者ローンの借入需要が増加したとの回答があったほか、クレジットカードの需要が増加したとの回答もあった。

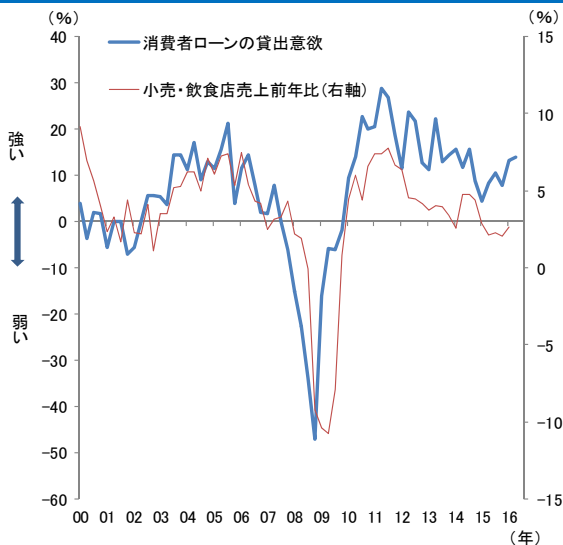
### 消費者ローンの貸出基準



### 消費者ローンの借入需要



### 消費者ローンの貸出意欲及び小売・飲食店売上前年比



### 家計の負債残高の構成(住宅ローンを除く)

